

2026年8月9日(日) 岩見沢市文化センター中ホール (岩見沢市9条西4丁目1-1)

九十歳。何がめでたい。

草笛光子 生誕九十年 記念映画

佐藤愛子の大人気エッセイの映画化!! 生きづらい世の中を「笑」両断
人生100年時代に贈る、前向きになれる痛快エンターテイメント!

2026
8.9(日)
あなたの悩みも
“一笑両断”

草笛光子
唐沢寿明 / 藤間爽子 片岡千之助 中島瑠菜
オダギリジョー 清水ミチコ LiLiCo 宮野真守 石田ひかり 三谷幸喜
木村多江 真矢ミキ

企画・プロデュース: 岡田有正 企画: 古賀純一 石塚慶生 プロデューサー: 近藤あゆみ 山田大作
原作: 佐藤愛子「九十歳、何がめでたい」九十九歳、戦いやす日は暮れず(小学館)
監督: 前田哲 脚本: 大島里美 音楽: 富貴晴美
主題歌: 「チーズ」木村カエラ (ELA / Victor Entertainment)

公式LINEはこちら



国民的エッセイ
誕生までの

笑いと共感の痛快エンターテイメント!

1日限りの2回上映 ①10:00 ②13:30 (開場各20分前)
【前売料金】大人900円 (当日1,000円) 大学生以下500円 (当日、前売共)

前売券は「まなみーる」ほかで販売
お問い合わせ先
090-9758-5669 (佐藤)

主催: 『九十歳。何がめでたい』観る会
後援: 特定非営利活動団体ハマネスアート、岩見沢文化連盟、プレス空知、北海道新聞社岩見沢支社、IHK 岩見沢放声協会、FM はまなす、週刊みなみ空知
© 2024 映画「九十歳。何がめでたい」製作委員会 © 佐藤愛子/小学館



断筆宣言をした90歳の作家・佐藤愛子(草笛光子)は、新聞やテレビをぼうっと眺める鬱々とした日々を過ごしていた。同じ家の2階に暮らす娘・響子(真矢ミキ)や孫・桃子(藤間爽子)には、愛子の孤独な気持ちは伝わらない。

同じ頃、大手出版社に勤める中年編集者・吉川真也(唐沢寿明)は、昭和気質なコミュニケーションがパワハラ、セクハラだと問題となり、謹慎処分に、妻や娘にも愛想を尽かされ、仕事にプライベートに悶々とする日々。そんなある日、吉川の所属する編集部では愛子の連載エッセイ企画が持ち上がり、吉川が愛子を口説き落として、晴れて担当編集に！

このふたりの出会いが、新たな人生を切り開く——？！

歯に衣着せぬ物言いで人気の直木賞作家・佐藤愛子。

2023年に100歳を迎えた彼女のベストセラー・エッセイ集『九十歳。何がめでたい』『九十八歳。戦いやまず日は暮れず』を原作に、90歳を迎えた草笛光子が、エネルギーかつチャーミングに等身大の佐藤愛子を熱演し、映画化！

彼女を支える頑固な中年編集者・吉川真也役に唐沢寿明、愛子の娘・響子役に真矢ミキ、さらに豪華キャストとゲストが多数登場！映画『老後の資金がありません！』(21)で老若男女の共感を呼んだ前田哲監督がメガホンをとり、2024年(映画公開当時)No.1の笑いと共感の痛快エンターテインメントをお届けします！

2026年8月9日(日) 岩見沢市文化センター中ホール
(岩見沢市9条西4丁目1-1)

1日限りの2回上映 ①10:00 ②13:30 (開場各20分前)

【前売料金】大人900円(当日1,000円) 大学生以下500円(当日、前売共)

主催：『九十歳。何がめでたい』観る会

後援：特定非営利活動団体ハマナスアート、岩見沢文化連盟、プレス空知、北海道新聞社岩見沢支社、IHK 岩見沢放声協会、FM はまなす、週刊みなみ空知

© 2024 映画『九十歳。何がめでたい』製作委員会 © 佐藤愛子/小学館

前売券は「まなみーる」ほかで販売
お問い合わせ先
090-9758-5669 (佐藤)